

令和4年12月28日

上戸区民の皆様

上戸区長 鈴木 孝敏
自主防災会部長 小林 清人

上戸区地域タイムライン（洪水・土砂災害版）～案～をお届けします 各家庭で災害時の行動について話し合ってください

上戸区民の皆様には、日頃より大変お世話になっております。11月に実施いたしました防災訓練②の組集会には多くの区民の皆様の参加を頂きましたことに感謝申し上げます。

さて、上戸区では災害時に一人の犠牲者も出さないことを目指し、災害時の行動指針であるタイムラインを作成しています。この度、洪水・土砂災害版を作成いたしました。昨年8月には区内でも水害が発生しております。いざという時のために各家庭での行動をご検討ください。

◇ タイムラインの見方

警戒レベルは刻々と変わります。区の対策本部は市の危機管理課と連携し地域に即した情報を流すべく努力いたします。区からの情報を注視してください。

【区の行動】

区の対策本部を早めに立ち上げ、市の危機管理課との連絡を取りながら上戸区に即した行動がとれるように考えました。

【組の行動】

上戸区の場合、組によって水害の発生状況が異なって参ります。今回は正副組長さん区会議員さんに考えていただいた内容です。組によって異なりますので、皆さんの知恵を出し合ってさらに実効性を高めるよう改善して参ります。

【私の行動】

この欄は、区の行動・組の行動を受けてそれぞれのご家庭でどう行動するかをご家族で話し合ってください。

- ・緊急時の準備品…車の給油・懐中電灯・スマホの充電…等
情報収集の仕方の確認…上戸区自主防災会のホームページ確認
(<https://17.agatto.work/>) スマートホンで読み取ってください →



- ・天気予報、バケツ雨量計の設置など
- ・いつ、どのように避難するか家族一人一人の行動の仕方について
緊急時は自家用車による一時避難も考慮→落ち着いたら避難所へ移動など
- ・組長への連絡（避難先の報告など）・家族内の連絡方法
等いろいろ考えられると思います。様々な場面を想定し話し合ってみてください。

今回お示したタイムラインは、完全なものではありません。皆様の知恵を出し合っ
てあらゆる場面に対応できるようなタイムラインにしていけるように考えています。
不明な点、問題と思われる点等、改善につながるご意見は自主防災会までお寄せく
ださい。自主防災会でも独自に雨量と地域の河川の状況、出水の状況などのデータを集
めています。区民の皆様からも、過去においてどのような水害（出水・土砂崩れなど）
があったのか情報がありましたら連絡ください。歴史に学びながら、また、新しい情
報も活用しながら災害に強い上戸区にして参りたいと思います。是非ご協力をお願い
いたします。

今回は、洪水・土砂災害を想定したタイムラインですが、今後地震災害のタイムライ
ンも検討して参りますのでご協力をお願いいたします。

（裏面もご覧ください）

◎ 上戸区における主な豪雨災害（区民から聞き取ったものです）

平成16年10月19～21日 総雨量 250mm （木村さん資料より）

北部 鐘鋳場の堤があふれそうになり、土手の決壊が心配された
鐘鋳場の下部の北部の住人が集落センターに避難
その後鐘鋳場の堤の土手を切る対応がなされた
北部7組裏山出水・南部の村中の道路冠水・北ノ沢水位上昇

平成18年 7月16～21日 総雨量 390mm （木村さん資料より）

梅雨前線の活発化により大雨（1週間降り続く）
北部7組裏山出水（県内では各地で災害発生）

令和 2年 7月3～9日 総雨量 260mm （木村さん資料より）

西箕輪小中学校に避難所開設（避難者1家族）
北部7組裏山出水あるも凹地に浸透

令和 3年 8月12～19日 総雨量320.5mm（西箕輪支所雨量計）

数日雨が続き総雨量が**300mmを越えた**
北部7組裏山から出水 消防団・自主防災会・区役員他動員
土嚢で水路を作り排水

◎ 過去の事例から学ぶこと

- ◇ 最近の梅雨の末期は雨が多く、いつ災害が起こってもおかしくない。
- ◇ 激しい雨でなくても降り続いた場合、総雨量が大きくなってくると危険度が増します。**時間雨量の多少ではなく総雨量に注意しましょう。**
今年夏激しい夕立がありバケツ雨量計で75mmを記録しましたが、それだけでしたので出水等はありませんでした。
- ◇ **総雨量が200mmを越えたら要注意です。**山沿い・川沿いの住民は雨量に注意して行動をしましょう。（組によって異なります）
- ◇ 報道の雨量と、地元の雨量は異なります。**バケツ雨量計を活用し、地元の雨量を確認しましょう。**

◎ 伊那市のレベル3（高齢者等避難）発出条件（避難所開設に動き出します）

- 条件1** 気象庁より大雨警報発出（土砂災害・浸水災害）
キキクル（気象庁）の**危険度分布地図が赤になった場合**
- 条件2** 大雨警報発出
累積雨量が、**48時間で200mmを越えた場合**
- 条件3** 強い雨が夜中から明け方に接近または通過しそうな場合
（明るいうちの避難ができるように）
※いずれかに該当した場合に発出

※ 最近では **令和2年7月に発出** （危機管理課より）